

令和5年2月13日
国土交通省関東地方整備局
港湾空港部

令和4年度 第2回「多摩川河口域における生物多様性環境検討会」を開催します ～汽水域における豊かな生物生息場の創出～

本検討会は、羽田空港に設置されている礫浅場をフィールドとして、生物多様性向上を図ることを目的に、実証試験による多様な環境の創出と管理方法を検討するため、国土交通省と環境省が連携した取組として開催しています。

令和2年度の礫浅場の設置からこれまで、現地のモニタリング結果等に関し、有識者から意見を伺いつつ取組を進めてきたところです。今回は令和4年度秋までのモニタリング結果の報告や今後のフォローアップ等を議題とし検討するもので、3年間の成果をとりまとめる最後の検討会となります。

記

1. 日 時 : 令和5年2月17日(金) 13:00～15:00
2. 場 所 : 関東地方整備局 横浜庁舎 14階 141・142会議室
(横浜市中区北仲通5-57 横浜第2合同庁舎)
3. 次第・委員 : 別紙のとおり
4. 取材等 : 検討会は非公開とします。報道関係者の方は挨拶まで傍聴及び撮影が可能です。取材希望の場合は、別添「取材登録書」により2月16日(木)14:00までに電子メールにてお申し込み下さい。

以上

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 横浜海事記者クラブ

問い合わせ先>

関東地方整備局 港湾空港部

電話：045-211-7404 メールアドレス：pa.ktr-umipro@mlit.go.jp

事業継続計画官 岡島 達男 (内線：5944)

課長補佐 名嘉 元康 (内線：5894)

令和4年度 第2回 「多摩川河口域における生物多様性環境検討会」

～議事次第～

1. 開 会
2. 議 事
 - (1) 前回検討会における指摘事項、主な意見等及び対応(案)について
 - (2) 礫浅場におけるモニタリング調査結果速報、
結果の評価と今後の課題(案)について
 - (3) 広報・活用について
 - (4) 次年度以降の調査・体制について
 - (5) その他
3. 閉 会

～委員名簿～

区分	氏名	所属・役職
委員長	吉田 丈人	東京大学大学院 総合文化研究科 広域システム科学系 准教授
委員	矢部 徹	国立研究開発法人 国立環境研究所 生物多様性領域 生態系機能評価研究室 主任研究員
委員	中村 由行	元 横浜国立大学大学院 都市イノベーション研究院 教授
委員	岡田 知也	国土交通省 国土技術政策総合研究所 沿岸海洋・防災研究部 海洋環境研究室 室長
委員	佐藤 大樹	環境省 関東地方環境事務所 野生生物課長
委員	木村 尚	NPO 法人 海辺つくり研究会 理事・事務局長
関係者	中澤 圭一	環境省 自然環境局 野生生物課長
関係者	衛藤 謙介	国土交通省 港湾局 海洋・環境課長
関係者	森橋 真	国土交通省 関東地方整備局 港湾空港部長

(順不同、敬称略)

(別添)

取材登録書

取材を希望される方は、事前に電子メールにてご登録をお願いします。

送付期限: **令和5年2月16日(木) 14:00まで**

様式は次の関東地方整備局港湾空港部HPの記者発表欄のExcelファイルを活用ください。

<https://www.pa.ktr.mlit.go.jp/kyoku/news/kisya.htm>

送信先: 関東地方整備局 港湾空港部 事業継続計画官室

送付先アドレス: pa.ktr-umipro【a】mlit.go.jp

※お手数ですが、【a】を@に変更し送付願います。

◆報道機関名

◆取材者

1) 代表者

2)

3)

◆連絡先(代表者の連絡先) →取材当日に連絡可能な携帯電話等

【備考】

- ・上記の「◆連絡先(代表者の連絡先)」には、取材当日に連絡可能な携帯電話等の連絡先を記入して下さい。(取材当日に変更等が生じた場合に連絡します。)
- ・駐車場はございませんので、お車の場合は一般の駐車場などを事前にご確認の上お越し下さい。

【注意事項】

- ・来場の際はマスクの着用を厳守の上、新型コロナウイルス感染症予防対策にご協力をお願いいたします。担当職員の指示に従っていただけない場合、その場で取材をお断りいたします。あらかじめご了承ください。

【取材当日の連絡・問い合わせ先】

- ・関東地方整備局 港湾空港部
事業継続計画官 岡島 090-1044-2035

【取材申込み送付先】 □

- ・関東地方整備局 港湾空港部
事業継続計画官付 名嘉
pa.ktr-umipro【a】mlit.go.jp
※お手数ですが、【a】を@に変更し送付願います。